



自立 開拓 共生

横浜市立泉が丘中学校 学校便り

一面

泉中リアル改10月号

平成30年 10月29日 発行者：学校長 小菅隆司
電話：045(802)8797

読書週間。今一度、本の良さ、見直してみては？ 学校長 小菅隆司

本が売れなくなった、と言われて久しいです。若者の活字離れとか、ネットの普及の影響とか、色々と言われますが、要するに、読書よりも楽しい事が多くなった、他にやる事が多く忙しい、その結果、読書の大切さや必要性が理解されなくなった…といったあたりが答えかな、と感じます。今月は私自身の経験から、**ちょっと長めですが**、読書についてお話しします。

-意外や意外、社会人に必要な教科は、国語と数学？-

異論もあるかと思いますが、私の経験では、教科の国語と数学の成績が良い人ほど、仕事ができる印象です。「指示が的確に理解できる」「表現が豊かで説得力がある」「文章の理解力と作成力が高い」等組織で動いたり、交渉や折衝をする際に用いる国語力。「論理的に考える事ができる」「頭の中でシナリオを組み立てる事ができる」等、思考を整理したり企画を構築したりする際に用いる数学力。

多くの企業の入社試験や昇進試験に採用され、年間200万人が受審するといわれるSPI(注)の基礎能力試験も、言語(国語)と非言語(数学)です。

その重要な国語力。力は読書量に比例する、とは言い切れませんが、その影響は大きいはずです。



(注)・・・リクルートが開発した能力検査

-読書の習慣。私の場合、本好きの父親のリードでした-

父の部屋は本棚で囲われ、ジャンルを問わず、新書、文庫がぎっしり。私にも幼いころから、絵本や字の大きな本を与えられ、言葉遊びに夢中の子供でした。父が初めて図書館に連れて行ってくれたのは小学校2年生。野毛の市立中央図書館。仕事で忙しい中、月2回は必ず連れて行ってくれたのです。私は沢山の本に大満足。当時10冊、しかも無料で借りられるとばかり、小学校卒業まで通い続けました。



最初に夢中になったのは、父親の薦めで読んだおなじみ「シャーロックホームズ」短編。子供向けの絵が多い簡略本だったと思います。「まだらの紐」や「赤毛組合」「踊る人形」等、今でも鮮明に覚えています。「最後の事件」のモリアーティ教授には、怖くてドキドキしたものです。その後も父親は「これ読め、あれ読め」と次々に本を薦め、児童文学は勿論、星新一のショートショート、北杜夫のどくとるマンボウ等に完全にハマってました。

-中学時代は部活優先に。それでも子供には、保護者の影響が大きいもの-

中学に入ると、部活で図書館は縁遠くなりました。疲れて勉強もしなくなります。すると、父が「勉強はしなくていいから、これだけ読め」と自分の持っている蔵書?から小説ばかりを定期的に数冊渡してくれるようになりました。

最初は読みやすい井上ひさしの初期物、次は、遠藤周作だったと思います。とにかく作者毎にまとめて渡されました。定番の太宰治に芥川龍之介あたりは別にして、筒井康隆、水上勉、藤沢周平に山本周五郎、池波正太郎に、当然、中壮年の愛読書、司馬遼太郎まで。所謂「オヤジ好み」の本です。

それでも流石に親子。血の繋がりは馬鹿に出来ず、嗜好も合い、苦にならず続きました。布団に入ると、与えられた本を広げ、夢中に読んでいたものです。多分、**この中学生の時期に、私の読み物好きが確立されたと思います。**

先日のドラフト会議。抽選の末、中日に指名された大阪桐蔭の根尾昂君。お医者さんである彼の御父さんも、読書は大事と毎月、何冊も送っていたそうです。故に彼は読書好き。本人素養もあり、文武両道で知られています。甲子園のスーパー高校生と並べて語るのもおこがましいですが、読書の習慣は、案外、学校よりも、御家庭の影響の方が大きいと思います。(裏面に続く)



～活字だけの読み物の意義～

活字だけの小説に比べ、漫画は簡単に登場人物の容姿やその背景までもイメージできます。善人はイイ男、悪人は醜悪な形に描かれ、その時代を知らなくても、情景や文明状況が解ります。横山光輝の「三国志」等が該当しますね。更にアニメや動画、ドラマになると、漫画では想像するしかなかった人物の声までが、効果音と共に感情込めて迫ってきます。煽情的な挿入歌も入り、更に気持ちも高まります。アニメ「進撃の巨人」のオープニングテーマ「心臓を捧げよ!」を聞くだけで、「国や自由を守らないと…」という気持ちにさせられてしまいます。



正岡子規の純真無垢な行動が好きで、何度も読んだ「坂の上の雲」(司馬遼太郎著)もNHKのドラマ化以降、子規は香川照之、秋山兄弟は阿部寛と本木雅弘の姿になって、頭は固定化されてしまいました。本当は、そんな〇〇〇〇のはずはないのに…。

私は漫画もアニメも大好きです。特に丁寧なアニメ制作は、日本の有数な文化産業だと思っています。今後は、3D化など、更に臨場感も高まり、よりリアルに、本物らしくなりそうです。

動画もYouTubeやTikTok等、簡単に作ることができ、訴求力は高まります。こう見ると活字だけのメディアは、分が悪そうです。しかし、一方、情報が多く理解し易い、でも粋のはまった物は、自由に妄想、空想を繰り広げる事が難しく、独自性や柔軟な発想も生まれにくいのも事実です。

そこで、**今、成長期の生徒達には、不便な活字や読書にあえて浸る事を求めます。**想像力を鍛え、自由な発想を大切にしたいと願うからです。未来を生き抜く為には大事な事と思います。是非、学校図書館に足を運んで下さい。瀧本先生が待ってます。名探偵コナン(江戸川コナン)の名の由来もわからないような生徒が出ると、困るのです。



地域のイベントに参加してみました!!!

下和泉連合 敬老会 (9/16)



まだ暑い日差しの中、「下和泉連合主催 敬老会」に参加させて頂きました。中学校と違い、参加者の年齢層が高く、当初違和感はありましたが、熱気は変わりません。堂々と前の方に陣取らせて頂き、開会に備えます。連合挙げての大会、区長をはじめとしたたくさんの方々の祝辞が述べられていきました。その中、急遽学校代表として泉中の校長先生もお祝いを笑いを交えて、お話しに。「いつまでも元気である為の3つの秘訣、旨いものを食べない、人と話して笑いまくる、出無精にならない」…大切ですね。その後は、マジックや舞踊など様々な演芸が披露され、長寿の祝いが進められました。手作り満点の温かい演出。会場準備や段取りなど、大がかりの準備がされています。その御苦労の分、大勢の方の元気な姿と笑顔を拝見できた敬老のお祝いでした。(文責:鳥海)

富士見ヶ丘連合 秋の祭り(10/14)



今年は、「積極的に地域の行事に参加しよう」と旗を挙げ、生徒のボランティア参加を決めた「富士見ヶ丘連合秋まつり」当日、天気が心配されましたが、泉中ジャージの色に併せ、空は少しずつ青空に…まずは一安心と言った所ですか。

八木会長や額田区長の御挨拶のある開会式でも泉中生はVIP待遇。初お手伝いに感謝の御言葉を頂き、恐縮至極です。私も「売上と集客は君達次第だ!!」と激を飛ばし、一斉に始まりました。生徒達は、真っ直ぐ担当部署に移ります。

タコ焼き、焼き芋、お菓자에野菜、フランクに飲み物、焼きそばに豚汁。所定の配置について生徒達は声を出して集客。〈やれるじゃない〉綿菓子ブースではまるで職人さんのようです。時間が経つにつれ、お客様は増え、商品は飛ぶように売れていきます。予定より早く商品完売するブースも登場しました。泉中生、大分売上貢献できたかな。最後の演目、盆踊りも、ノリノリの神村先生筆頭に大勢が参加。ヒップホップと違い戸惑いながらも、楽しそう。閉会式では特製プレートまでいただき、勉強と感謝の一日でした。(文責:校長)



百花繚乱 未来に向けて〈未来につながる今をご紹介〉

学校はいつも変化します。主役の生徒が変わり、また、成長し、世代変わりしていきます。このコーナーは、未来につながる泉中や地域の何気ない「リアル」をご紹介します。

第48回 泉が丘中学校体育大会 (文責:鳥海)

9月26日(火)に、体育大会を実施しました。朝から雨が今にも降りだしそうな天候で心配されましたが、半日バージョンを組み、プログラムを変更して行いました。種目数が少なくなったため、子どもたちの各種目への取組も、熱が入った物となりました。特に3年生にとっては最後の体育大会だったため、全員リレーや学級対抗リレーはドラマ続出。とても感動的でした。



感動の文化発表会

来月特集します!

1・2年生も3年生の姿を目に焼き付けて、来年度の体育大会を盛り上げてほしいと思います!



応援にも熱が入る!



緊張した表情...



黄色組が優勝しました!

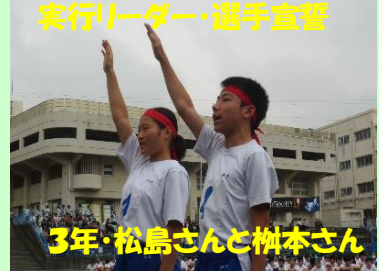
体育大会実行リーダー・運営生徒の活躍



23日(金)の本来の予定日は、雨のため中止。その後、土日月の連休明けも雨模様の予報です。雨が降らないことを祈りながら、陸上部の生徒達がグラウンドの整備、ライン引きを行いました。

当日も8時前から、各部活動、各委員会に所属する生徒達が集まり、担当に分かれて準備をします。予行練習や事前の打ち合わせを経ているので、手際よく、テントを設営。机や椅子など必要なものを体育館から出して、テキパキと動いて、あっという間に会場が整いました。〈完璧〉

体育大会が始まってからも、それぞれの委員会や部活動に所属する生徒は、大忙し。競技を終えて、すぐ走って、自分の持ち場に向かって、すぐ準備。天候により、予定と違った時程の中でも臨機応変に動く姿は、流石に泉中生、立派なものです。



実行リーダー・選手宣誓

3年・松島さんと榎本さん

ちょっと、体育大会実行リーダー、3年4組の松島颯音さんにインタビュー。「体育大会実行リーダーは3年間やっています。閉会式の運営は3年になり始めてだったので大変でした。また、準備期間で、学年種目の作戦を考えたり、クラスや自分の赤組をまとめたりすることも頑張ったつもりです。」

一人ひとりが思い出深い体育大会になったのも、実行リーダーをはじめ、大勢の生徒が、運営と準備に力を注いでいた事を忘れてはいけなかったと思います。

競技で勝つことが全てではなく、競技以外の所で活躍していた人達がいること、そこに大きな学びと価値があることに気づかされた体育大会だったと思います。



広報委員 ~放送・記録係~



開会式を見守る、体育大会実行リーダー



図書委員 ~得点着順記録~



サッカー部 ~用具の配置・収納~



福祉委員 ~来賓の受付・接待~